

《学校運営協議会(コミュニティ・スクール)の活動について》

桑村小学校応援団会議！

桑村小学校 NO.12 令和4年10月12日 文責 渡邊

楽しく学べた！ ちいきDEわくわく体験スクール

10月7日(金)に、「ちいきDEわくわく体験スクール」を行いました。このことについては、令和4年10月9日(日)の伊豆日日新聞の朝刊の一面に紹介されました。記事の中にも紹介されていますように、桑村小学校の子供たちを地域で育てることをねらい、PTAの役員の皆様方が中心となって企画・運営を行いました。

当日はあいにくの雨天でしたが、3～6年生の34名が参加しました。

はじめに体育館で、救命救急法を体験しました。この体験活動には、駿東伊豆消防本部田方北消防署員の方々が指導してくださいました。胸骨圧迫、人工呼吸、AED(自動体外式除細動器)操作等に取り組みました。

署員の説明の後、グループごとに実際に人形を使い体験しました。基本操作を学んだ後は、救助者を救出することを想定し、「大丈夫ですか」「だれか救急車の要請をお願いします」「AEDを持ってきて」「強い電流を流すので離れて」等の声を掛けながら学びました。

次に、月光天文台へと移動しました。ここでは、プラネタリウム鑑賞を行い、星がどのようにして誕生したのかや星座について学習しました。とてもすばらしい施設で、担当の方の話も分かりやすかったです。機会があったらこれからも利用させていただきたいと思えます。

夕食は、おいしいカレーが用意されていました。子供たちは、カレーを食する前に、広告の紙とビニル袋を活用し、漆田PTA会長の指導のもと、防災用のコップを各自で作成しました。そして、実際に作成した防災用のコップを使って飲料水を飲む体験を行いました。その後、みんなでカレーをいただきました。

参加した子供たちは、とてもすばらしい笑顔を見せてくれました。この「ちいきDEわくわく体験スクール」は当初7月に予定していましたが新型コロナウイルス感染症の予防対策として、本日に延期し開催となりました。そうした状況の中、PTAの役員の皆様、そして地域の皆様、開催していただき本当にありがとうございました。地域で桑村小学校の子供たちを育てるといふねらいは達成できたものと思えます。

これからも学校と家庭、そして、地域社会が協働で子供たちの健全な育成に努めていくことを心より願います。どうかよろしく願います。



【救命救急法の様子①】



【救命救急法の様子②】



【参加者みんなで記念の撮影】



【防災用コップづくりの様子】